

JAAF
CHIBA

千葉陸協だより



第7号

発行：一般財団法人 千葉陸上競技協会

2015年12月15日発行

〒263-0011 千葉市稲毛区天台町 323
千葉県総合スポーツセンター国際千葉駅伝事務局内
TEL: 043-252-7311 FAX: 043-252-7314
<http://www.jaaf-chiba.jp/>

シーズン後半戦を前にして

副会長 高津 乙郎

今年の夏は、猛暑と例年になく多くの台風上陸の影響によるものか豪雨、竜巻等で全国的に大きな被害をもたらしました。自然の力を思い知らされました。県内でも被害にあわれた地域があり、その方々にお見舞い申し上げます。これまで「異常気象」と言われて久しいのですが、最近ではこれが日常化している感じがします。

さて、千葉陸上競技協会関係者の皆様には日頃より、本協会の活動にご支援、ご協力いただき感謝申し上げます。おかげさまで、2014年3月に一般財団法人化され、2年目を迎えました。私、本年度4月より、副会長に選任されました高津です。役員としては所属団体（千葉市陸協）での経験だけで、本協会の活動については初めての経験であります。重責ではありますが、この任を与えていただいたことに感謝し、微力ではありますが、陸上競技を通して育てていただいた恩返しの気持ちで本協会の発展に尽くしてまいります。今後ともよろしく願いいたします。

さて、本協会は、競技運営の充実と競技力向上を大きな柱として活動しております。競技運営につきましては、4月の審判講習会、記録会に始まり、県選手権等、役員・審判の皆さんのご支援、ご協力、また選手の活躍で円滑に運営されていますこと感謝申し上げます。

競技力向上（強化）につきましては、折しも、各方面の尽力でオリンピック・パラリンピック東京大会が2020年に開催が決まりました。オリ

ンピックを夢見るこれからの若い選手たち、並びに指導者にとりましては大きな励みとなることでしょう。これまでのオリンピックには本県から富士通所属の選手はもちろん、澤野大地選手始め多くの本県出身の選手が参

加し、活躍してきました。ぜひ、5年後の東京大会でも本県出身選手が活躍できるよう期待しながら、その条件整備に取り組んでまいります。

本年度もシーズン後半に入り、競技もトラックからロード（駅伝）、クロスカントリーに移ります。都道府県対抗駅伝、全国高校駅伝、全国中学校駅伝等での本県の活躍を祈念しております。その中で、昭和63年から26回に及ぶ開催をしてまいりました晩秋恒例の「青木半治杯国際千葉駅伝」が昨年度をもって終了したことは、主催者のみならず、競技場や沿道での応援を楽しみにしていた皆さんには残念だと思えます。私も、瀬古俊彦選手の現役ラストラン、渡辺康幸選手の地元での快走が脳裏に焼き付いています。これまで築いてきた審判養成、競技運営等、今後にかわしていきたいものです。

おわりに、皆様には今後とも引き続き、本協会へのご理解、温かいご支援をよろしくお願いいたします。



委員会報告

総務委員会

市東和代

日頃より、本協会の活動に御支援・御協力をいただき感謝申し上げます。お陰様で、本年度陸協主催のトラック&フィールドの大会は無事終了し、今後は駅伝、クロスカントリーを残すこととなりました。

さて、平成 28 年度は、ちばアクアラインマラソン 2016 が 10 月 23 日（日）に開催されます。次回大会では、国際色豊かな大会、車いす種目の正式導入、コースの公式認定も含めハーフマラソンコースの一部変更等が考えられております。すでに第 1 回競技運営委員会を開催し準備を進めております。

来年度は第 89 回関東陸上競技選手権大会を開催いたします。現在、準備を進めておりますが、暑さの中での開催が予想されますので、円滑な競技運営ができますよう御協力をお願いいたします。

競技運営委員会

立澤 勇

国際千葉駅伝大会は 2014 年大会で終了いたしました、1988 年の第 1 回大会から審判員皆様のご協力により、大会がスムーズに運営できましたことに感謝申し上げます。

千葉国際クロスカントリー大会も第 50 回大会で終了しましたが新たに第 1 回全国中学生クロスカントリー選手権大会に生まれ変わりますので、審判員の皆様のご協力をお願い致します。

新 B 級公認審判員取得講習会を平成 28 年 2 月 21 日（日）千葉県総合スポーツセンター宿泊研修所大ホールで開催いたしますので、審判員の資格取得を希望される方にお声をかけて頂ければ幸いです。

強化委員会

伊東謙二

本年度より強化委員長を仰せつかりました伊東謙二です。昨年までの岩本前強化委員長の功績が大きいため大きなものを背負い込んだ感覚はありますが、私は私なりのやり方で今後の千葉県の競技力向上を目指し取り組んでいこうと考えています。本年度から強化委員会のスタッフの人数をスリム化し、フットワークを重視した組織としました。マネージャー

戸田博・稲葉剛、短距離コーチ 浅野真吾・片方学、長距離コーチ 滝田輝行・小谷野慎也、障害コー

チ 後藤彰英、跳躍コーチ 海鉾佳輝・花岡麻帆（女子監督）、投擲コーチ 梶谷正樹・松本剛史、トレーナー 稲葉正充、ジュニア普及 舟橋昭太。スタッフの考えを積極的に取り入れ、より効率的な組織運営ができるよう配慮し、多角的な視点からチームを見つめなおし今後に生かしていこうと考えています。

本年度の和歌山国体においては選手・スタッフが天皇杯の優勝を目標として掲げ、一丸となって挑みました。結果、総合 10 位という成績でしたが、選手は競技に集中できるよう生活面から見直し、スタッフは千葉県の代表チームとして雰囲気作りと競技のコーチングに全力で取り組みました。獲得した 78 点という得点がどのように評価されるかわかりませんが、監督として現在の千葉県チームを見たときに、その過程における努力と本大会での結果は最高のものが残せたと自負しております。

今後の課題は女子選手の強化や更には高校生から大人の選手としての継続性など山積しており簡単なことではありませんが、それらを一つ一つ克服できるようにと考えています。我々強化委員会だけでは限りがありますので今後多くの方々の協力を必要とします。宜しく願いいたします。

施設用器具委員会

松本 健

今年度から施設用器具委員長になりました松本健です。微力ながら千葉の陸上競技の発展に貢献していければと思っています。よろしく願いいたします。

さて、施設用器具委員会での仕事の柱であった国際千葉駅伝の道路点検等も 2014 年を最後に終了しました。今までご協力いただいた多くの方々に心より感謝申し上げます。

現在は従来からの仕事である、公認競技場の検定作業を中心に行っています。競技場の公認の有効期限は 5 年です。その間に更新をしなければならず、状況に応じ改修をします。そして検定の際に行う作業が、トラック（距離も含む）、フィールドの状態、レベル、各施設、用器具などです。それが終了し、日本陸連で認められ初めて公認の競技場として使用されます。

昨年度は県総合スポーツセンターを始め複数の競技場の検定作業を行いました。最近では浦安市の 4 種公認の検定を行い 4 月にオープンしました。陸上専用使用の時間帯も毎週あり、多くの方々に利用していただき千葉県の陸上競技をさらに盛り上げていただく場になってくれればと思っています。



千葉県 PR マスコットキャラクター チーフくん
千葉県許諾第 A2877号

この人に
聞く

千葉のアスリート紹介

第7回 新井 拓磨さん

こんにちは、柏日体高校陸上競技部主将の新井拓磨です。

僕の高校3年間の目標は、インターハイで優勝することでした。昨年は2位という結果に終わり、あと一步、日本一に届きませんでした。全日本ユース選手権や、国民体育大会では優勝できましたが、高校生にとって一番価値のある夏の栄冠は、何としても手にしたいと思っていました。また、インターハイで優勝するということは、柏日体高校陸上競技部の部旗を掲げるということです。来年から、柏日体高校は「日本体育大学柏高校」に高校名が変更になります。柏日体高校の部旗を



掲げられるのは今年が最後のチャンスです。「ここで歴史に名を残せるのは僕しかない」そう強く感じ、特別な想いでインターハイに臨みました。

優勝を手にするまでの期間は、本当に苦しい日々が続きました。棒高跳は

恐怖心と隣り合わせの競技です。それを知ってしまい、踏み切れなくなっていました。インターハイ当日も、そのような状態で、最悪のスタートでした。しかし、多くの方々から温かい声援をいただき、強気で競技することができ、最高の結果につなげることができました。優勝、そして部旗を掲げることができたのも、多くの方の支えがあったからです。本当に感謝しています。

高校での一番の目標は達成しました。しかし、僕の競技人生はまだこれからです。インターハイでの優勝は、人生の中で一番のビッグイベントになる東京オリンピックに向けて、そのスタートフラッグが振られたように感じています。これからも多くの方々への感謝を忘れずに、新たな目標に向かって頑張っていきたいです。

プロフィール

新井 拓磨 (あらい たくま)

総和南中学(茨城) → 柏日体高校

和歌山インターハイ棒高跳 優勝 5m 20

和歌山国体少年A棒高跳 優勝 5m 10

長崎国体少年A棒高跳 優勝 5m 10

日本ジュニア棒高跳 優勝 5m 20

部活動紹介

第3回 「成田高等学校」

成田高校陸上競技部の歴史は、大正13年4月までさかのぼり、平成27年で創部92年を迎えます。部の土台となる基礎を築き上げた山田晴之助先生をはじめ、瀧田詔生先生、高橋幸先生、越川一紀先生の歴代の先生方による指導のもと、千葉県陸上界から全国に名を轟かせてきました。インターハイでの男子総合優勝7回は現在も最多を誇り、その記録を更新すべく日々生徒は練習に励んでいます。現在部員数は78名で短距離男子26名女子22名、長距離男子15名女子15名です。短距離は中原浩一先生と菅野さおり先生、長距離は松澤誠先生のもとOBやOGも練習に参加するなど活気あふれた活動を続けています。

今年8月には400mのオールウェザーグラウンドを改修して清々しい青色のトラックとして生まれ変わりました。練習会や見学などには、是非皆様のお越しを一同お待ちしております。



※部活動紹介コーナーに登場してくれる部活動を募集しています。我こそはと思う部活動の方は千葉陸協までご連絡ください。



国際大会入賞者・国内大会優勝者



アジアユース(H27.5.8-11 カタール)

女子 走幅跳 杉村奏笑 5m90 ① 千葉黎明
女子 走幅跳 橋本梨沙 5m67 ⑤ 幕張総合

日本学生選手権(H27.9.11-13 大阪)

男子 400mH 橋本孝興 49.89 ① 日大
女子 棒高跳 榎本優子 3m80 ① 筑波大

日本選手権(H27.6.26-28 新潟)

男子 100m 高瀬 慧 10.28 ① 富士通
男子 1500m 荒井七海 3.43.47 ① 東海大

日本学生個人選手権(H27.6.12-14 神奈川)

男子 400mH 橋本孝興 49.89 ① 日大

国民体育大会(H27.10.2-6 和歌山)

少年A 棒高跳 新井拓磨 5m10 ① 柏日体
少年A 400m 染谷 翔 47.64 ① 西武台千葉

全国高校総体(H27.7.29-8.2 和歌山)

男子 棒高跳 新井拓磨 5m20 ① 柏日体

全日本中学校選手権(H27.8.19-21 北海道)

男子 100m 平野壮太 10.79 ① 富士見中

お知らせ

栄章贈与者の紹介

【平成26年度 日本陸上競技連盟 栄章】

秩父宮章 清水 進 元千葉陸上競技協会
強化委員会副委員長
高校優秀指導者章 伊東謙二 千葉東高等学校教諭
中学優秀指導者章 岡野浩幸 旭市立第二中学校教諭
高校優秀選手章 前田恋弥 船橋市立船橋高等学校
中学優秀選手章 杉村奏笑 旭市立第二中学校

新井拓磨 柏日体高校
小野 翼 木更津総合高校
宮崎諒也 佐倉市立佐倉東中学校
本田隼二郎 流山市立東部中学校
杉村奏笑 旭市立第二中学校
梅原遙奈 佐倉市立南部中学校

平成26年度千葉県最高記録章

高瀬 慧 富士通 男子100m 10.13 男子200m 20.34
戸邊直人 千葉陸協 男子走高跳 2m31
J・デイク 日立物流 男子5000m 13.12.94
男子3000mSC 8.10.72
鈴木雄介 富士通 男子10000mw 38.27.09
男子20kmw 1.16.36
大森郁香 日本大学 女子800m 2.03.93
R・W・モニカ スターツ 女子3000m 8.48.44

平成26年度千葉県高校記録章

前田恋弥 市立船橋高校 男子800m 1.48.08
羽生拓矢 八千代松陰高校 男子5000m 13.52.98
永原秀人 成田高校 男子5000mw 20.30.75
戸辺誠也 東京学館船橋高校 男子円盤投 46m59
小野 翼 木更津総合高校 男子ハンマー投 59m39

平成26年度千葉中学記録章

杉村奏笑 旭市立第二中学校 女子走幅跳 6m16

【千葉陸上競技協会 栄章】

平成27年度功労賞

吉田辰栄 (千葉陸上競技協会審判員)
藤井宗隆 (千葉陸上競技協会競技運営委員)
高山 直 (千葉陸上競技協会施設用器具委員)

平成26年度勲功章

高瀬 慧 富士通
田中圭祐 富士通
大森郁香 日大
R・W・モニカ スターツ
松崎璃子 積水化学
尾西美崎 積水化学
佐藤奈々 スターツ
前田恋弥 市立船橋高校
藤川哲平 山本竜大 飯田惇生 前山陽軌 成田高校